



# リサイクルQ&A



**Q:** 急に引越しすることになったのですが、どこに持っていけばいいのですか？

今回はこれからの季節によくある質問をご紹介します。

3月は引越しの季節です。引越しごみもきちんと分別しましょう。

**A:** 急に引越しすることになったときは、資源ごみだけは役場で引き取ります。金属製などのごみも指定袋に入れて持参しましょう。



## 一般ごみ

引越しのため、収集場の収集日に間に合わない場合は、清掃センターへ直接搬入できます！

- 月曜日～土曜日 (祝祭日休み)
- 9:00～16:00



## 粗大ごみ

一般ごみといっしょに清掃センターへ直接自分の車で搬入できます。

## 資源ごみ

分別がしてあるものだけに、役場で引き取りをしています。事前に必ず役場へご連絡ください。

※4月からは、引越しごみや高齢者世帯など、「自分で収集場へ運び出せない」、「ごみの量が多い」という方々への対策として、そおりサイクルセンターへ電話で申し込むと、自宅まで直接回収にお伺いするサービス（一部有料）を始めることになりました。

※粗大ごみ収集場が、3月の回収を最後に廃止されます。詳しくは、3月号で掲載します。

《問い合わせ先》大崎町役場福祉保健課環境係 TEL 76 - 1111 内線 145



## 保健師だより

### 『花粉症の季節です！』

2月に入りました。花粉症の方は大変つらい時期の到来です。花粉症は、植物の花粉によって起こるアレルギー性の病気で、樹木や草花の花粉が飛ぶ季節に、花粉が目や鼻のどの粘膜に付着することで、くしゃみ・鼻水・目のかゆみなどの症状が現れます。原因となる植物は様々ですが、その代表的なものはスギです。そのほかにも遺伝的な体質、住環境、食生活などのさまざまな要因が重なって起こります。日本人の5人に1人は花粉症患者であると言われています。

すでに新聞・テレビなどで言われているように、2005年のスギ花粉は非常に多くなると予測されています。これは、昨年の夏の猛暑と少雨が影響しています。さらにスギ花粉と同じ症状を起こすヒノキの花粉も非常に多くなる見込みです。秋の調査では、ヒノキの枝先に大量の花をつけているのが確認されています。ヒノキの花

粉が多い場合には、例年4月中旬に終わる花粉症の期間が5月まで続いてしまいます。すでに花粉症とわかっていらっしゃる方に限らず、突然花粉症になる方もいますので、花粉を寄せ付けない対策が必要です。①風の強い晴れた日は、外出を控えたほうがよいです。とくに昼前から午後3時までが花粉が飛びピークです。

- ②メガネやマスク、スカーフ、帽子等を着用する。衣服は花粉がつきにくいすべすべした素材のものを選ぶとよいです。
  - ③家に入る前は玄関先で衣類や髪持ち物についた花粉をばらう。
  - ④帰ったら手・顔・目・鼻を洗うがいをする。
  - ⑤アレルギー性疾患である花粉症は、短期間で完治させることはできませんが、薬でつらい症状を少しでも楽にすることはできます。花粉症の季節の前から予防的に服用し始めると、より効果的といわれており、病院や診療所で診察を受けて、医師の指導と薬の処方に従って使用してください。
- その他にも、新聞やニュースに掲載される花粉速報や飛散状況を参考にしながら、少しでも花粉症の症状が軽減できるよう、予防に努めましょう。

健康に関する相談は、保健センターへお気軽にどうぞ!! TEL 76 - 1111 (内線 146・147)